

とまどい… 決意… 18歳にとっての選挙…

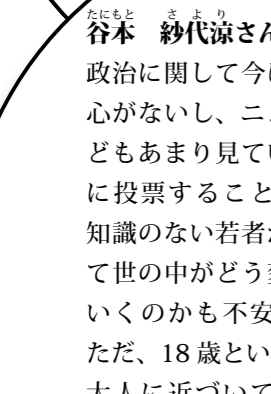


あさひ みさき
旭 美里さん

政治に関して知識がないのに投票してもいいのか？と思うし、年齢引き下げのことを聞いても、今はまだ政治に興味がない。また、政治や選挙と聞くと堅いイメージがあって、自分に選挙権があることがピンとこないし、投票に行かなければいけないとも思っていない。

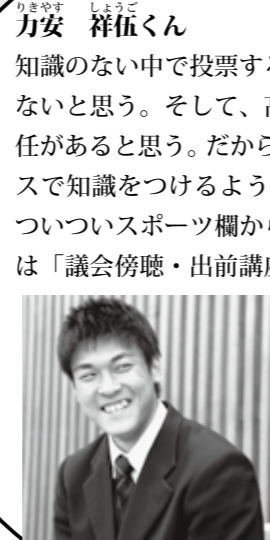


同級生にいろいろ聞いてみたよ



たにもと さよりの
谷本 紗代涼さん

政治に関して今はまだ関心がないし、ニュースなどもあまり見ていないのに投票することが不安。知識のない若者が投票して世の中がどう変化していくのかも不安に思う。ただ、18歳ということは大人に近づいているし、いつかは自分の子どもに教えていかないとけない立場になるので、きちんと伝えられるように知っていききたいと思う。



りくや しゅうご
力安 祥伍くん

知識のない中で投票するのは国のためにならないと思う。そして、高校生でも投票には責任があると思う。だから最近、新聞やニュースで知識をつけるように努力しているけど、つついスポーツ欄から見てしまう…。今日は「議会傍聴・出前講座」を受講した。選挙は民主主義の根本でとても大事だと分かった。主催者としての自覚を持っていきたい。

取材を終えて… この記事を書いて、私自身とても勉強になりました。選挙権が18歳に引き下げられることになった背景や、そのねらい、その他にもいろんなことを考えさせられる、いい経験になりました。選挙権を持つことが素晴らしいことだと思えるようになったし、質のいい投票をすることの大切さも学ぶことができました。

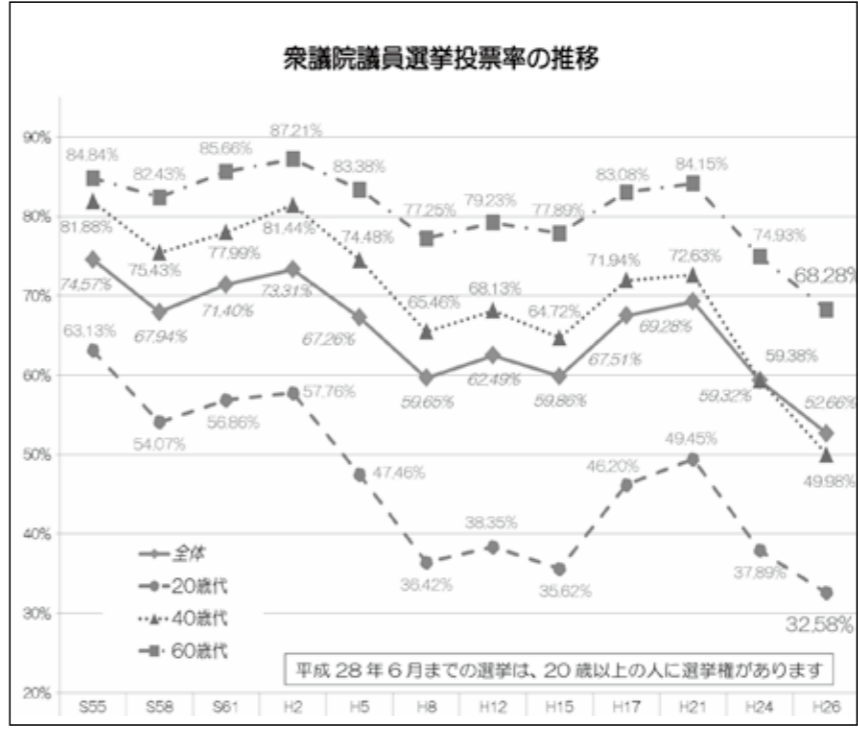
また、自分の考えていることを文章にするのは難しいと思いましたが、頭にはイメージがあるけど、伝えるのは難しく、何度も書き直しました。担当の方も、「書いては消してを繰り返している」と聞いて、改めて大変な仕事なんだと思いました。

今回学んだことを将来活かせるように、これからの学校生活でも伝わりやすい文章を書くのを頑張りたいです。また、政治にもっと目を向け、自分の意見をしっかり持って、自分の意志で投票できるようにしていきたいです。



広報あきたかた 特別編集員 大下 楓
※インターンシップ（就業体験）とは、確かな勤務観や職業に関する知識を深める体験授業です。

〈特集〉 私たちの選択…



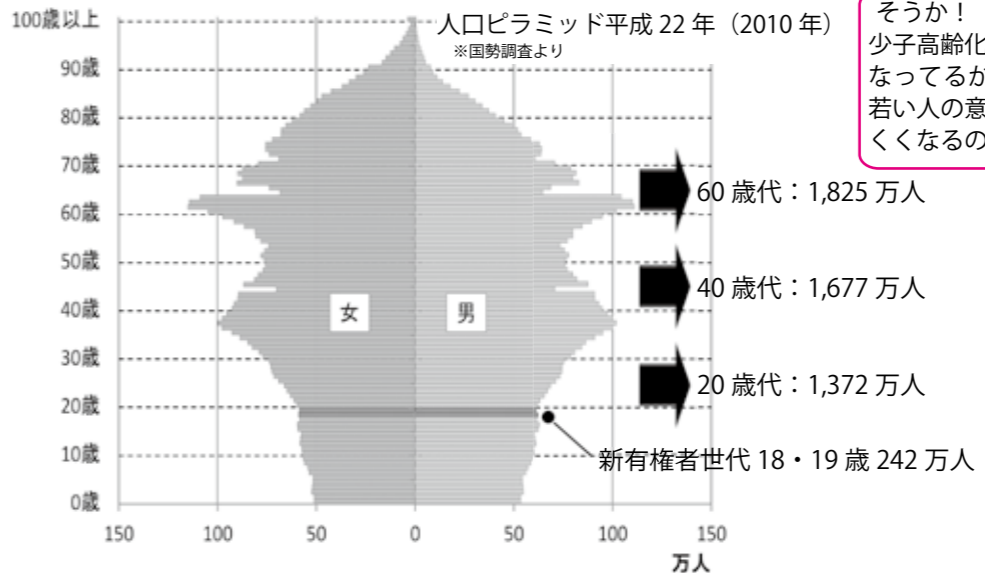
私は吉田高校3年の大下楓です！今回はインターンシップの関係でこの記事を書くことになりました。選挙権にふたつの理由があるように年齢の引き下げに関して18歳の目線でお届けします！

18歳が主流であること。そして、若い世代に政治に関心をもってもらうためです。左のグラフを



〈自分が生活する国…〉
人任せでいいの？
せつかく選挙権があるのに活用しないなんてもったいない！まずは投票しに行きませんか？しかし、私は行くならしっかりと自分の考えを持って参加したいです。つまり、政治を知りたいです。つまり、政治を知りたい！きちんと考える！自分で判断する！の3つが大切です。新しく有権者になったみなさん、しっかり自分の意見を持って、選挙にいきましょう！

ご覧ください。20代の投票率が低く、平成26年には最低値の32.58%となつています。少子高齢化が進むうえに若い人の投票率が低いので、若い人の意見を政治に反映することができません。しかし今回の年齢引き下げが若い世代が政治に関心を持ち、投票率UPのきっかけになるのではないのでしょうか？



そうか！少子高齢化で若い人の人口が少なくなってるから、投票率が下がれば、若い人の意見はますます反映されにくくなるのか！

